# 2025年3月期第1四半期 決算説明会

2024年8月7日

太陽誘電株式会社 経営企画本部長 福田 智光

## 2025年3月期第1四半期 連結業績概要

- 売上高は前四半期とほぼ同水準の811億円。
- 用途分野別では、タブレット端末などの情報機器向けやサーバーなどの情報インフラ・産業機器向けが増加したが、スマートフォンを中心とした通信機器向けが減少。
- 売上高は5月時点の想定を上回った。円安による為替影響を除く と、ほぼ想定通りの水準であった。
- 営業利益は26億円、前四半期比29%増益。

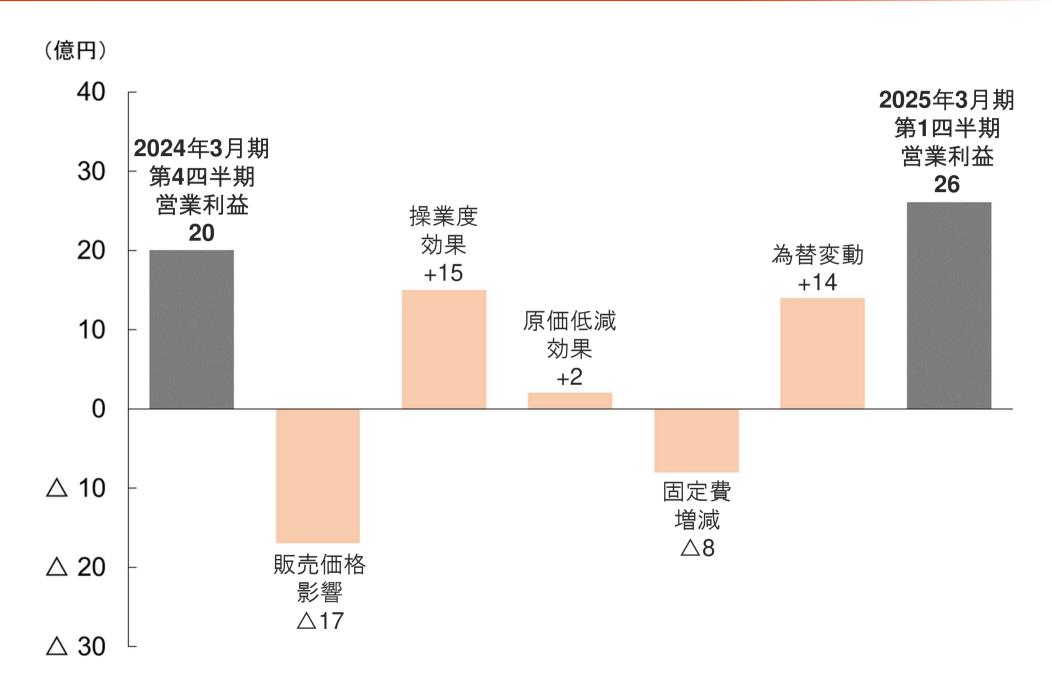
## 2025年3月期 連結業績予想

- ■期初に発表した業績予想から変更なし。
- 売上高3,500億円(前期比9%増)、営業利益200億円(同120%増)を計画。

#### **TAIYO YUDEN**

# 2025年3月期第1四半期連結業績概要

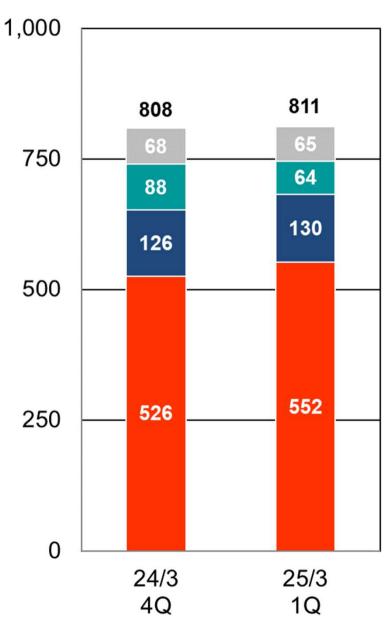
百万円	2024年3月期 第4四半期		2025年3 第1四半		増減		
売上高	80,834	100.0%	81,138	100.0%	304	0.4%	
営業利益	2,036	2.5%	2,630	3.2%	594	29.2%	
経常利益	6,301	7.8%	8,377	10.3%	2,075	32.9%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,641	5.7%	6,309	7.8%	1,668	35.9%	
対米ドル期中平均レート	146.76円		153.15円		6.39円円5		
為替変動による影響額	売上高 +25億	売上高 +25億円、営業利益 +14億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	3,726		3,641		△84	△2.3%	
設備投資額	24,008		14,980		△9,027	△37.6%	
減価償却費		10,899	10,548		△350	△3.2%	



百万円	2024年3月期 第4四半期		2025年3月 第1四半		増減		
コンデンサ	52,554	65.0%	55,192	68.0%	2,638	5.0%	
インダクタ	12,645	15.6%	13,011	16.0%	365	2.9%	
複合デバイス	8,784	10.9%	6,388	7.9%	△2,395	△27.3%	
その他	6,849	8.5%	6,546	8.1%	△303	△4.4%	
合計	80,834	100.0%	81,138	100.0%	304	0.4%	

### 製品別売上高(前四半期比)

(億円)



■コンデンサ

### コンデンサ

(前四半期比+5.0%)

民生機器向け、情報機器向け、情報インフラ・産 業機器向けが増加。

### ■ インダクタ

(前四半期比+2.9%)

通信機器向けが減少したものの、民生機器向け や情報機器向けなどが増加。

■ 複合デバイス (前四半期比△27.3%)

通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュール が減少。

■その他

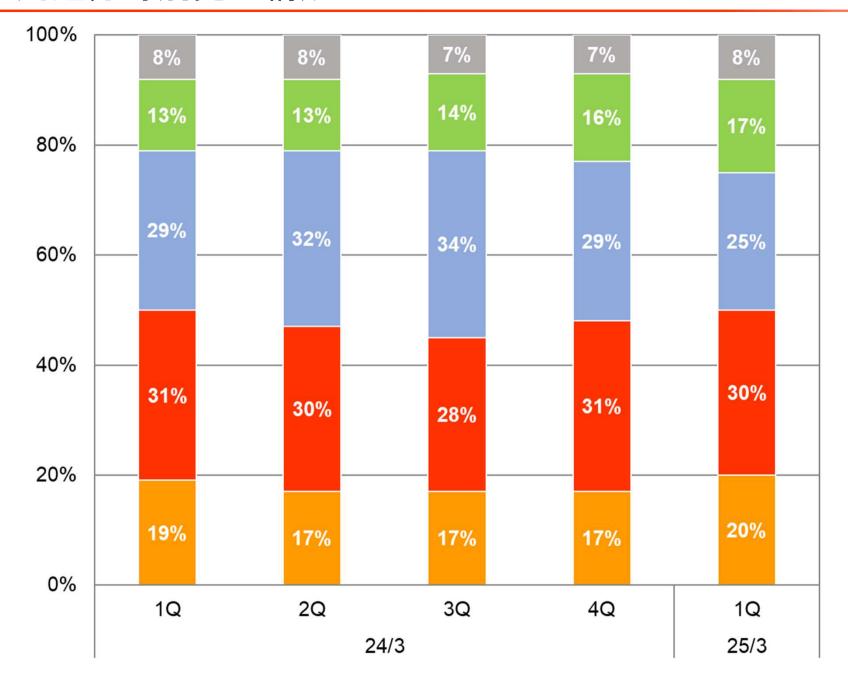
(前四半期比△4.4%)

自動車向けのアルミニウム電解コンデンサが減少。

■ 複合デバイス インダクタ

■ その他

### 用途分野別売上構成



### 民生機器

- ・テレビ
- ・ゲーム機器
- ・スマートウォッチ

### 情報機器

- ・タブレット端末
- ・パソコン
- ·HDD, SSD

### 通信機器

・スマートフォン

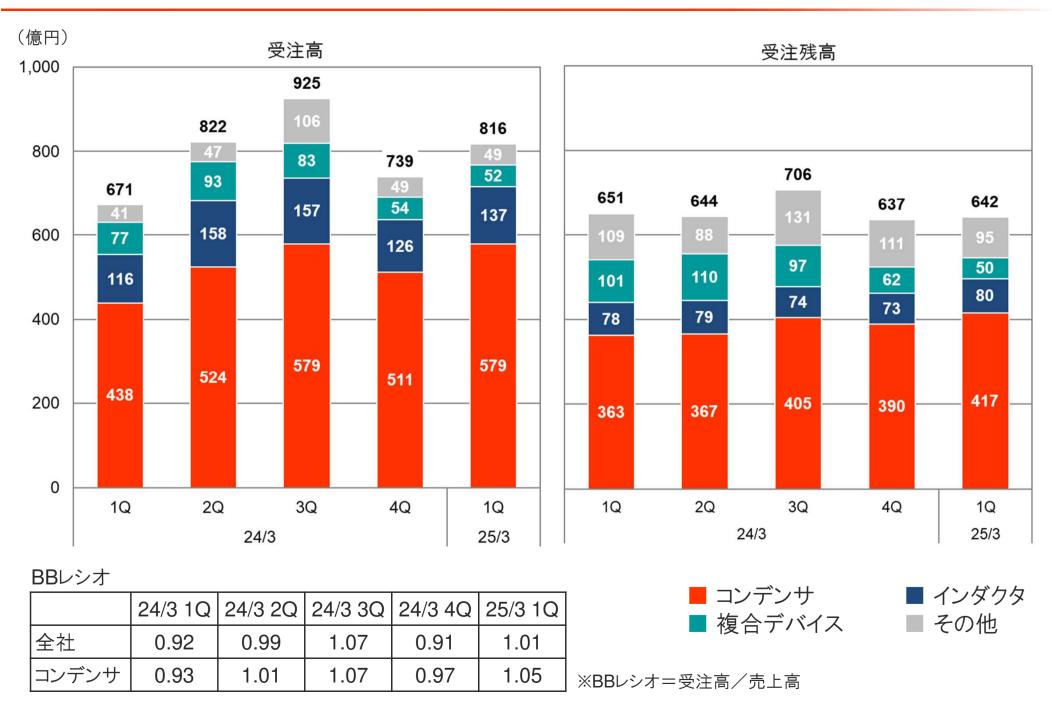
### 自動車

- ·ADAS
- ・メータークラスター
- ・電子制御ユニット

# 情報インフラ・ 産業機器

- ・サーバー
- ·基地局通信装置
- ・セキュリティカメラ※当社推計値

## 受注高·受注残高



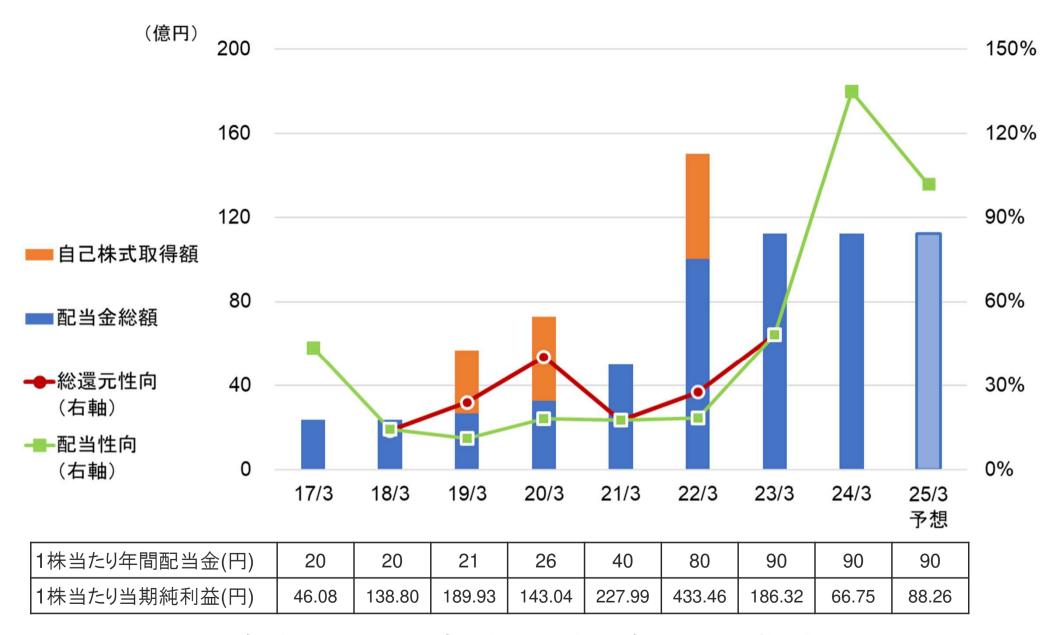
#### **TAIYO YUDEN**

# 2025年3月期 連結業績予想

# 2025年3月期 連結業績予想

百万円	2024年3月期		2025年3月期 予想		増減	
売上高	322,647	100.0%	350,000	100.0%	27,353	8.5%
営業利益	9,079	2.8%	20,000	5.7%	10,921	120.3%
経常利益	13,757	4.3%	16,500	4.7%	2,743	19.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,317	2.6%	11,000	3.1%	2,683	32.2%
対米ドル期中平均レート	143.32円		14	145.00円		1.68円円安
研究開発費	13,696		15,000		1,304	9.5%
設備投資額	92,201		70,000		△22,201	△24.1%
減価償却費		39,391	45,000		5,609	14.2%

百万円	2025年3月期 第1四半期	2025年3月期 第2四半期予想 (前四半期比増減)
コンデンサ	55,192	+11%~+15%
インダクタ	13,011	+17%~+21%
複合デバイス	6,388	△5%~△1%
その他	6,546	△5%~△1%
合計	81,138	+9%~+14%
対米ドル期中平均レート	153.15円	(前提)155.00円



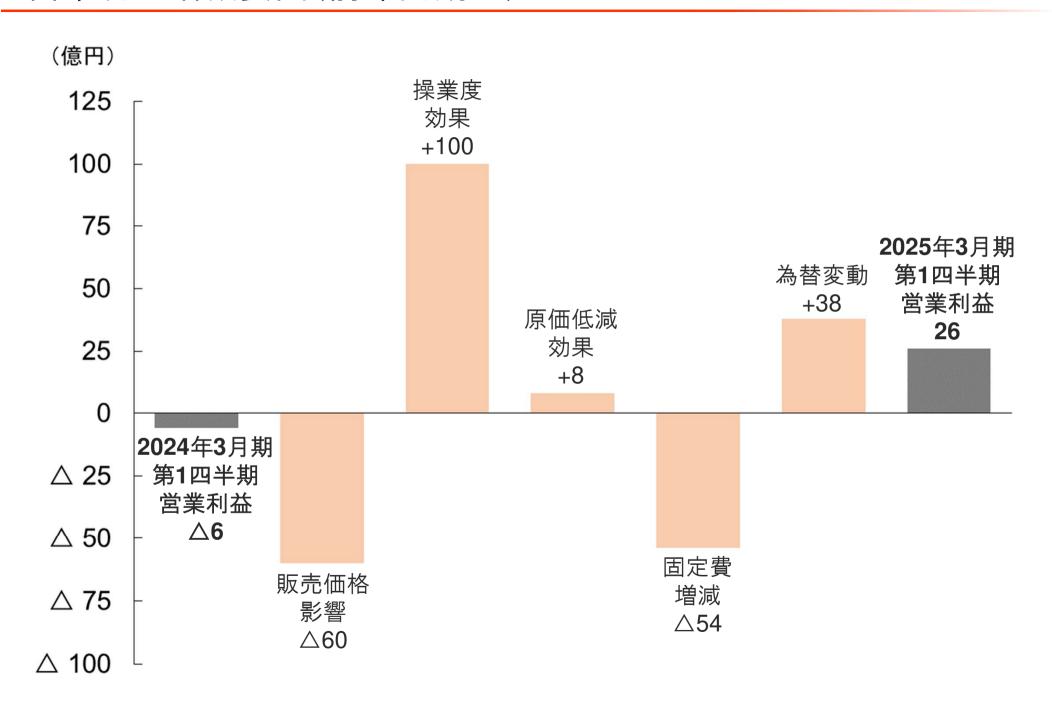
安定的な配当性向30%の実現を目指す

©TAIYO YUDEN Co., Ltd. TAIYO YUDEN 13



# 補足資料

百万円	2024年3月期 第1四半期		2025年3月 第1四半		増減		
売上高	72,612	100.0%	81,138	100.0%	8,525	11.7%	
営業利益	△577	△0.8%	2,630	3.2%	3,208	_	
経常利益	1,159	1.6%	8,377	10.3%	7,217	622.6%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	903	1.2%	6,309	7.8%	5,406	598.6%	
対米ドル期中平均レート	134.93円		153.15円		18.22円円岁		
為替変動による影響額	売上高 +69億	売上高 +69億円、営業利益 +38億円 ※米ドル以外の通貨影響含む					
研究開発費	3,169		3,641		471	14.9%	
設備投資額	25,968		14,980		△10,987	△42.3%	
減価償却費		8,850	10,548		1,697	19.2%	



百万円	2024年3月期 第1四半期		2025年3月 第1四半		増減		
コンデンサ	47,133	64.9%	55,192	68.0%	8,058	17.1%	
インダクタ	10,976	15.1%	13,011	16.0%	2,035	18.5%	
複合デバイス	8,182	11.3%	6,388	7.9%	△1,794	△21.9%	
その他	6,320	8.7%	6,546	8.1%	226	3.6%	
合計	72,612	100.0%	81,138	100.0%	8,525	11.7%	

### 製品別売上高(前年同期比)

### (億円)



### コンデンサ

(前年同期比+17.1%)

主に情報機器向け、自動車向け、情報インフラ・ 産業機器向けが増加。

### インダクタ

(前年同期比+18.5%)

主に民生機器向け、情報機器向けが増加。

■ 複合デバイス (前年同期比△21.9%)

通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュール が減少。

■その他

**TAIYO YUDEN** 

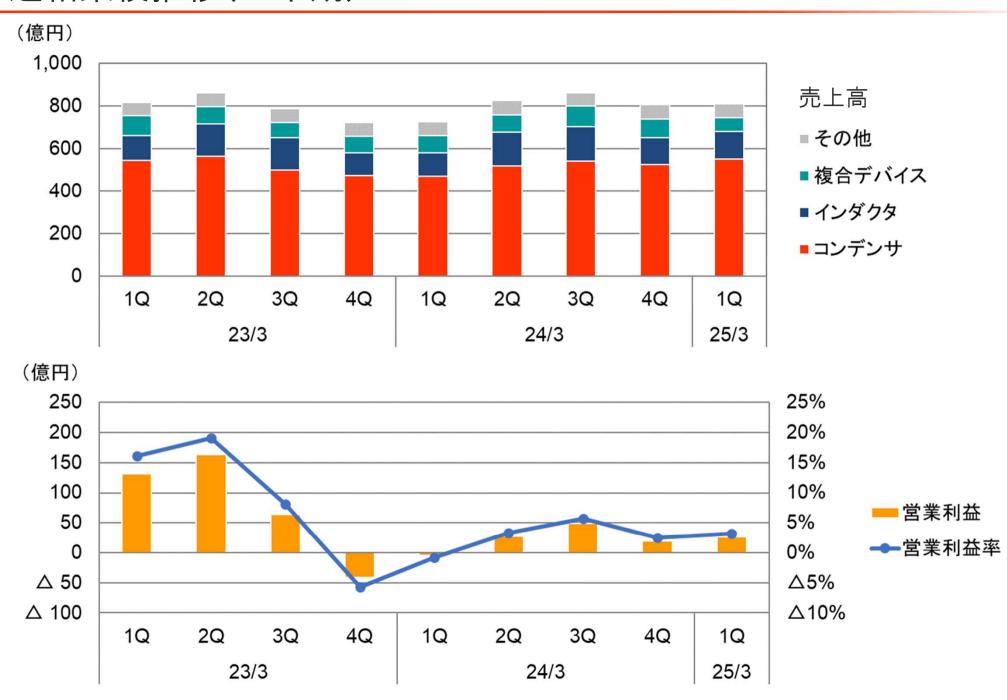
(前年同期比+3.6%)

自動車向けのアルミニウム電解コンデンサが増加。

■ 複合デバイス ■ その他

# 連結業績推移(四半期)

百万円		2023年	≡3月期		2024年3月期			2025年 3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
	81,740	86,272	79,032	72,458	72,612	82,814	86,386	80,834	81,138
コンデンサ	54,583	56,438	49,867	47,225	47,133	51,950	54,190	52,554	55,192
インダクタ	11,748	15,156	15,212	10,748	10,976	15,748	16,196	12,645	13,011
複合デバイス	9,159	8,276	7,358	7,786	8,182	8,326	9,641	8,784	6,388
その他	6,248	6,400	6,594	6,697	6,320	6,789	6,358	6,849	6,546
営業利益	13,142	16,475	6,462	△4,100	△577	2,721	4,900	2,036	2,630
経常利益	17,204	18,355	2,572	△3,299	1,159	5,127	1,169	6,301	8,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,236	12,643	1,972	△3,636	903	2,497	276	4,641	6,309
対米ドル期中平均レート	124.45⊨	135.33⊨	144.27⊨	132.75⊨	134.93⊨	142.47⊨	149.10⊨	146.76⊨	153.15⊩



当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことからも、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

# **TAIYO YUDEN**